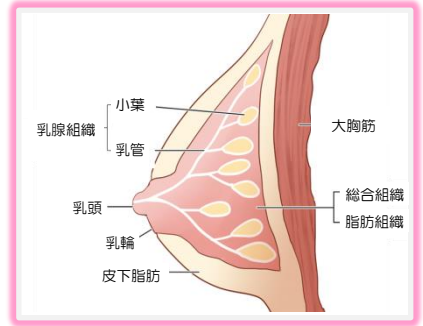


乳がん高度検診・治療センター NEW ーす NO.53

2018.10

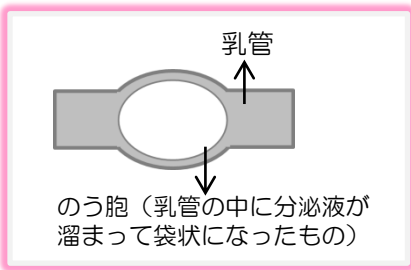
乳腺の良性疾患について

乳房は乳腺組織とその周りの脂肪組織や結合組織などから成り立っています。乳腺組織は乳汁を作る小葉と乳汁を運ぶ乳管から構成されており、ここが乳がんの発生源地となります。乳房内には乳がん以外にも様々な良性疾患が発生します。今回は良性疾患について幾つかご紹介します。



🎃 乳腺症とは

女性ホルモンのアンバランスが原因で生じる、乳腺組織の様々な変化を総称して言います。30-40歳代に多く、乳房の張り・痛み、ごつごつ感、乳頭分泌といった症状が見られます。乳がんとは区別しにくい場合は、組織診断を行うこともあります。乳腺症だから乳がんになりやすいということはありません。



🧬 のう胞とは

乳腺症の一症状です。のう胞は乳管内に水分が溜まって乳管が袋状に膨らんだ状態のことです。閉経後に自然に消えていく為、基本的に治療の必要はありませんが、大きくて美容上気になる場合、痛みを伴う場合、他の疾患との判別が難しい場合は細い針を刺して検査（細胞診）や治療を行うことがあります。

👻 線維腺腫とは

15-35歳の女性に多くみられるしこりで、触るとクリクリとよく動き、大きさも小豆大~鶏卵大ほどまで様々です。女性ホルモンの影響で形成するとされており、年齢と共に自然退縮することも少なくありません。線維腺腫ががん化することは極めて稀であり、基本経過観察となりますが、急に大きくなる場合や、美容上に気になる場合、後述する葉状腫瘍と区別が付きにくい場合には摘出手術を行うことがあります。

🎃 葉状腫瘍とは

線維腺腫と臨床所見・画像所見ともよく似ていますが、線維腺腫に比べてやや高齢層（35-55歳）に発症し、月単位で急速増大するといった特徴があります。良性、境界悪性、悪性が存在し、悪性の場合、肺や骨などのへの遠隔転移を起こすことがあります。標準治療は外科的切除です。切除後の再発を防ぐためにも、広範囲に切除することが推奨されています。

🌸 石灰化とは

カルシウムの沈着によって起きる変化のことです。良性のものと悪性のものがあり、しこりを触れない早期乳がんのサインとなることもあります。画像診断で見極めが難しい場合は慎重に経過観察や、組織検査を必要とします。

気になる症状があれば乳腺外科までご相談ください。
症状がなくても定期的な検診受診を心がけましょう。

**乳腺外科
高橋 裕代**

KAZUKA

市立貝塚病院
TEL : 072-422-5865